



同じ棉(綿)でもこんなに違うということ、実物を眼にして思います。旧東方村中村家住宅(レイクタウン)と大間野町旧中村家住宅では数年前から棉を栽培していますが、これは「洋綿」で、今年は春日部市立郷土資料館のご協力で「和綿」も栽培しています。両者は今、実が開裂して綿毛が出ていますが、この様子が異なります。『武蔵国郡村誌』には少なくとも明治初期まで市域のいくつかの村で綿の生産が行われていたことが記されていますが、これは恐らく和綿の方だと思われます。

その2

越谷の学校を通して観た終戦前後

前号に続いて、「市内小学校開校150周年記念展示 越谷から見た近代教育『第二部 終戦前後の学校』」をご覧頂いた方々の感想・ご意見をいくつかご紹介致します。

自身や世の中と向き合って...

今回の展示をご覧くださった方々の多くは40歳代後半以上の世代の皆様でした。人生の半ばの方、すでに職を離れた方、そして終戦前後に生まれた方です。この方々はそれぞれにこれまでのご自身の来し方や社会との関りを振り返りながらご覧になったようでした。

- ★戦争中の「教育」が壊されて、学びたくても学べなかった子供たちの様子が少しわかりました。
- ★入試があって合格して入学しても学べない無念さが切なくなりました。
- ★終戦前後の歴史をほとんど勉強しないで年を重ねてきました。改めてその一画を勉強させて頂きました。
- ★大東亜共栄圏を勇ましいと思った小学生時代の考えを反省しています。
- ★自分が育ち、お世話になった地の成り立ち、教育の変遷にはとても興味をひかれます。先人の様々な努力の上に現在の我々があるのだと、改めて考えさせられました。
- ★団塊世代の私は明治～終戦までの学びが足りておらず、退職後によりやく少しずつ取り組むようになりました。ああ、こういうことだったのかと、心の痛みと共に教えられることの何と多いことか。あの高度成長期を無自覚に前だけを見て、自分のことだけを考えてきた反省も込めて学び、できれば孫たちに伝えていきたいと思っています。



軍事教練
(越谷市教育委員会蔵)
収穫後の農地で中等学校男子生徒が軍人から軍事訓練を受けました。

なぎなたの演武(越谷市立越谷小学校蔵)
国民学校高学年女子の武道として指導されました。



- ★戦後の再生の力強さを感じました。(現在でも起きている戦争、不穏な動向などの)この時期に、このような企画は地味であっても大事なことだと思っています。
- ★私はかつて越谷市の中学校に勤務したことがあるが、今日触れた歴史的瞬間を切り取った事実など、まるで知らなかった。そこに生きた人々を改めて見直す思いが痛烈だった。
- ★当たり前のことだが、住まいである越谷にも戦争があったことを身近に感じられた。子供たちにも是非見て欲しい。
- ★越谷の文化活動の歴史は誇らしいですね。本屋さんの明詩社(今はない?昔、教科書を失くして、ここで買いました。)って、その「明詩」からきているのですか?

- ★もう少し掘り下げたの展示があればと思いました。(広さも、場所も)なぜ戦争があったのか、越谷での戦争の影響、町づくりなども。
- ★年表が市と国内と世界と対比して書かれていて、とてもわかり易く興味深かった。
- ★戦中の教科書が有るのが大変良い。できれば内容も閲覧できると良い。
- ★ぜひ市役所でこの展示を行っていただきたい。もっと多くの人に見てもらおう価値がある。



昭和22年の新入生(越谷市立荻島小学校蔵)
終戦から2年経っていましたが、服装や身なりには戦争の跡が見られます。

歴史を学ぶことで現代社会や自分自身と向き合うことがあります。これらのご感想は40歳代前半より若い方々の先達ともなるのではないのでしょうか。

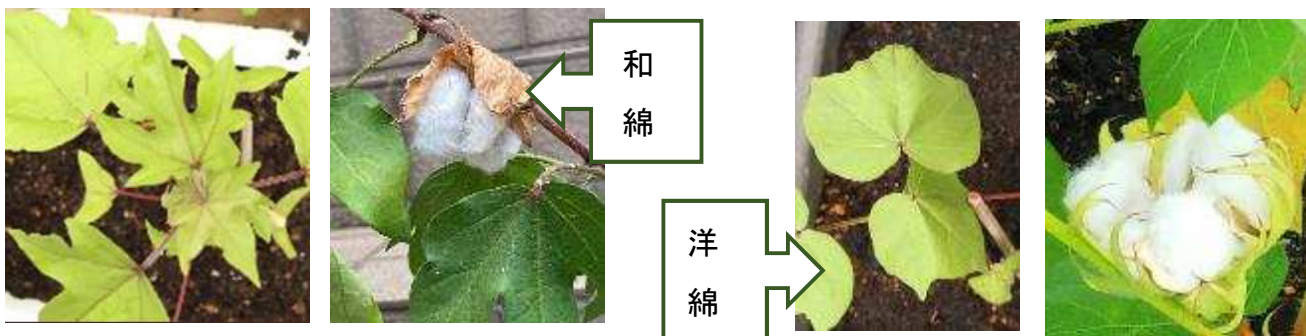
有名な出来事や人物だけが世の中を作り動かしているわけではないということも、これらのご感想から伝わってきます。時の中央政権、為政者の政策は生活に大きな影響を与えますが、市井の人々はいつも受け身でいるわけではなく、様々な条件の下でもその地域から国や世界を観て、時には苦しみ時には希望をもって生きようとしていたことが様々な史料から感じられました。

このことは幕末に於いても同様で、『**第三部 近代学校の夜明け前**』で取り上げたいと計画しています。(令和5年12月16日～令和6年1月22日 於：旧東方村中村家住宅)

わた 和洋の綿(綿)

普段何気なく身につけたりしている綿製品ですが、“綿(棉)”が元はどのような物なのか、あまり意識しません。麻が庶民の衣類の中心だった生活から綿の普及によって、人々は随分と快適になったと思われます。

旧東方村中村家住宅では、9月中旬から10月末まで、綿に関する展示を行いました。



【ご感想】

- ★庶民に広く綿が普及したのは意外と新しい時期だったのだと初めて知った。昔は寒さをしのぐのも大変だったのだろうと思った。
- ★実際に栽培から製綿まで作ってみたくなりました。
- ★自分で種をまいて布を織るまでしてみたいので、学ばせてもらいました。日本でワタを生産できると知らなかったのが、今日知ることができて良かったです。
- ★ガイドの方が丁寧に説明して下さったので、より理解し易かったです。このような歴史的建築物(市井の人々)は、是非保存を続けて子供たちへ教えていって頂きたいです。
- ★綿を紡ぐところのDVD鑑賞あるといいなあと思った。